

スマート&超高効率 ヒートポンプ

GHP X AIR III

GHPエグゼアⅢ

超高効率ガス空調システム「エグゼア」が、さらに進化して新登場。



省エネ大賞 受賞

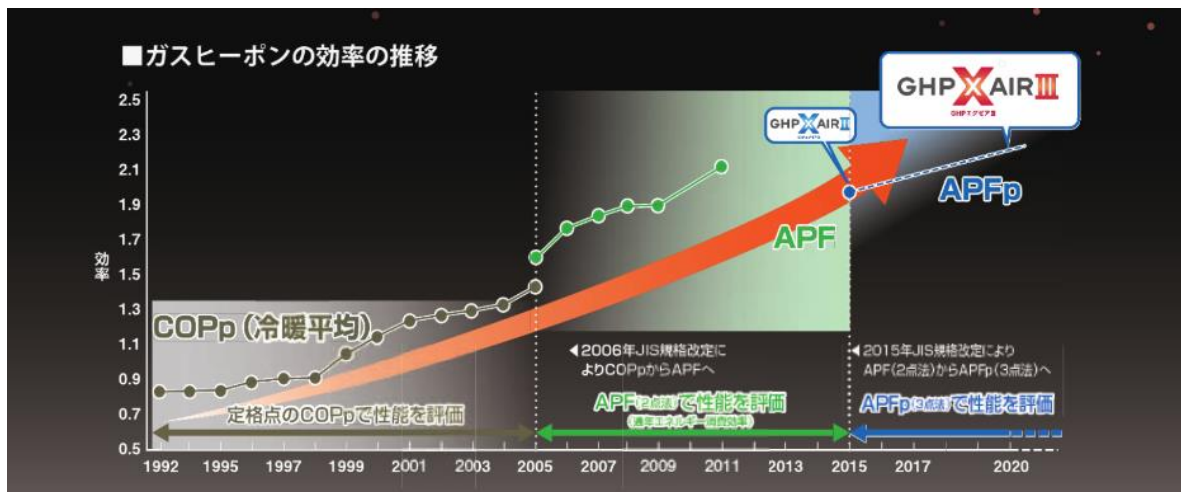
超高効率ガスエンジンヒートポンプ「GHP XAIR(エグゼア)Ⅲ」

資源エネルギー庁長官賞
2020年度(製品・ビジネスモデル部門)

主催:一般財団法人省エネルギーセンター



2015.10 改訂の新 JIS 規格より期間成績係数が従来の「APF」から「APFp」に変更になりました。



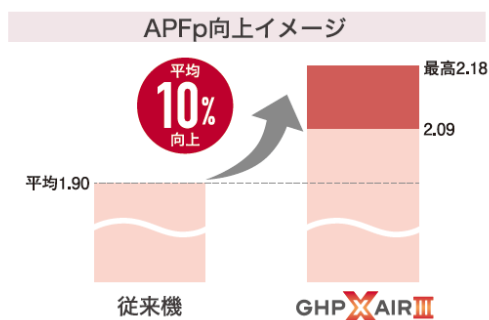
エグゼアⅢの“4つのシンカ”が日本の空調を変える。

シンカⅠ

省エネ性の進化

▶エネルギー効率が平均約10%向上

エンジン、コンプレッサー及び熱交換器の開発・新規採用等による運転効率の改善を図り、全機種においてエネルギー消費効率を示すAPF^pの向上を実現致しました。これは従来機から平均約10%※1向上しており、年間消費エネルギー及びCO₂排出量の更なる削減に貢献します。



シンカⅡ

快適性の深化

▶厳しい気象条件下でも運転を継続

外気温50℃や、積雪時でも運転を継続することができます※2※3。また、外気温2℃以上では除霜運転無く暖房を継続できます※3。これらにより昨今の厳しい気象条件下でも快適性が増しました。

猛暑や積雪など、さまざまな環境でも運転可能



シンカⅢ

節電性の真価

▶消費電力はEHPの1/10

GHP(ガスヒートポンプ)が持つ節電効果を維持し、消費電力はEHP(電気式ヒートポンプ)と比較し1/10以下なので、ピーク電力の低減に貢献します。

定格消費電力イメージ



シンカⅣ

設置性の新価

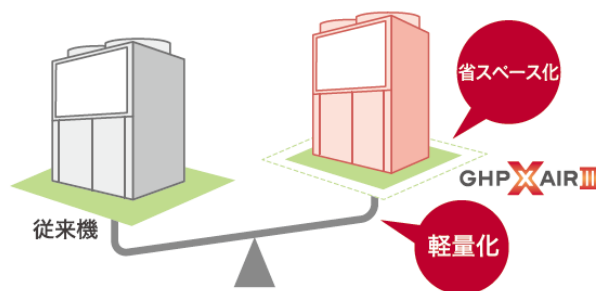
▶設置スペース※4の削減

各種部品の見直し等により全機種において設置スペースを従来機と同程度、またはそれ以下に削減しました。

▶軽量化

エンジンの小容量化、熱交換器の効率化等により全機種で軽量化を実現しました。

設置スペース削減と軽量化を実現



※1: APF^pやAPF^p増加率はメーカーや機種によって異なります。

※2: 設置条件、運転条件により効果は異なります。

※3: 積雪時の運転継続機能(室外機ファンによる雪飛ばし制御)は、パナソニック製、ヤンマー製ではオプション(有償)となります。

※4: 設置スペースとは、メンテナンススペースを含む機器の設置に必要なスペースです。

お問合せは… **帯広ガス株式会社** **24-4200** 営業推進課まで